

「くまもと・わくわく基金」平成27年度 助成事業 事業報告会 実施報告書

1.開催日時 平成28年7月26日（火）18:00～19:30

2.開催場所 熊本市市民活動支援センター・あいぽーと イベントコーナー
(熊本市総合保健福祉センターウェルパルクまもと 1階)

3.実施目的 平成27年度及び平成28年度助成事業団体に対し、各団体から平成27年度の助成事業報告を行うことにより、くまもと・わくわく基金への理解や各団体の市民公益活動への理解を広げることを目的とする。

4.参加者 総数34名
・平成27年度助成団体13団体19名
・平成28年度助成団体7団体8名（※平成27年度との重複団体6団体を除く）

5.開 会 地域活動推進課 河野課長挨拶



事業報告

◆分野指定助成

【保健・医療・福祉分野】

- ・Human Life Support of MUSIC BAND 絆 ボランティア会
- ・NPO 法人 熊本わくわく体操ボランティア協会
- ・NPO 法人 成年後見安心サポートネット熊本
- ・NPO 法人 スポレク・エイト

【環境保全分野】

- ・熊本の大気汚染を考える会

【保健・医療・福祉分野】

- ・NPO 法人 でんでん虫の会

【生涯学習・子どもの健全育成分野】

- ・特定非営利活動法人 子ども夢工房
- ・ジェンヌ Kumamoto

【まちづくり・地域安全分野】

- ・NPO 法人 日本防災士会・熊本県支部

◆スタートアップ助成

- ・特定非営利活動法人 優里の会
- ・ボランティアグループ「笑顔のたまて箱」
- ・ダイエットサークル からだデザイン

◆団体応援助成

- ・ボランティアグループ「熊本のおもちゃ病院」



6.閉 会

事業報告概要

(助成金の主な活用先や目的)

- ・ 道具や器具の購入、講演会・イベント等の開催、活動回数や会場の増など、「事業内容の充実」を挙げていた団体が特に多かった。
- ・ 次に多かったものとして、「広報活動費」への活用があった。

(全体的な印象等)

- ・ 全体的に、助成事業を通して発見した課題を今後の活動へと繋げていく姿勢がみられ、助成事業の実施が新たな課題発見のきっかけになっていた。
- ・ いくつかの団体から、「市政だより等で活動の広報をして欲しい」といった要望や団体だけでは解決できない課題に対して、「もっと行政との連携が欲しい」等の意見があった。
- ・ 今回の震災に関連したものとして、「熊本地震の発生後、昨年度の事業実施場所であったコミュニティセンターや公民館が避難所になったため、顔を出したところ、事業を通じて顔見知りになった参加者が避難していたことやエコノミークラス症候群に対する意識が高まっていたことから、避難所での健康体操ボランティアにつながった」という報告があった。

以 上